

環境大気中の「総揮発性有機化合物」の調査・分析方法について

項目	分類 大気汚染防止法(光化学スモック)	シックハウス(室内空気汚染)問題に関する検討会中間報告書
調査対象	揮発性有機化合物排出施設	室内空間
分析方法	触媒酸化-非分散形赤外線分析計(NDIR法)	ガスクロマトグラフ質量分析法(GC-MS分析法)
	揮発性有機化合物として一括で定量	定量総揮発性有機化合物(T-VOC)
単位	ppmC	$\mu\text{g}/\text{m}^3$
除外物質	メタン、ハイドロクロロフルオロカーボン(HCFC)類及びハイドロフルオロカーボン	なし
総揮発性有機化合物の定義	「大気中に排出され、又は飛散した時に気体である有機化合物(浮遊粒子状物質及びオキシダントの生成の原因とならない物質として政令で定める物質を除く。)を、「揮発性有機化合物(VOC)」として定める。 ※具体的な物質の指定はない	「n-ヘキサン(C6)からn-ヘキサデカン(C16)までの部分に見つけられる化合物を考慮する」とされ、トルエン換算を行うよう指定されている。